

# なきごえ

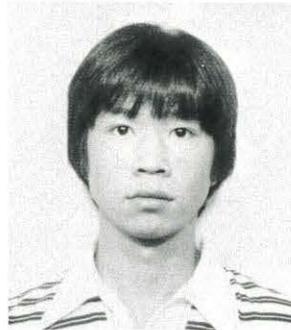


1981

9

大阪市  
天王寺動物園協会

井塚 英 樹



「あなたは動物が好きですか?」「はい、大好きです。」テレビを見ていてこんなやりとりがあった。このやりとりを聞いたとき私はふと考えた。こう聞かれてすぐ大好きですと

答えられる人は動物とどのように接してきたのだろう。このように答えられる人というのは、おそらく生き物をもて遊んだり、いたずら半分に殺したりしたことなんてないんだろうなあ。蝶やトンボが飛んでいるのを遠くからながめて、きれいだなあと思っ

ていて見ている人なんだろうなあと思った。そう思ったとき自分はとてもじゃないが動物が好きですなんていえる資格のないことを痛感した。私は小さい頃から動物を飼うのが好きだった。こういうふうに動物を飼うのが好きだというのを動物好きというのなら、私も動物好き仲間入りができるかもしれない。しかし、私は自分の飼っている動物の世話をす

いた。私が人間と自然ということを実際に考えるようになったのはそれからだった。そして、3年間考えてようやく自分なりに自然と人間ということについて考えをまとめることができた。

思うに、人間の欲望というのは、生きようとする力(本能)に自己に対するあるいは人間に対する執着心がからみ合ったものであり、そこから出てくる人間の行為は自己中心的、人間中心的なものである。人間は人間を他の自然物と異なった特殊な存在だと思

い込んできた。その思い込みがまさに執着心の元であり、人間中心的行為の原動力なのである。しかし、人間は本当に特別な存在なのだろうか。人間はたしかに他の動物に比べて非常に異なった特性を有している。しかし、根本的なところでは他の生命と同じである。人間も他の生命体と同様、与えられた生命をまっとうしようとする本能に動かされている

(カモシカ食害防除学生隊関西支部長)

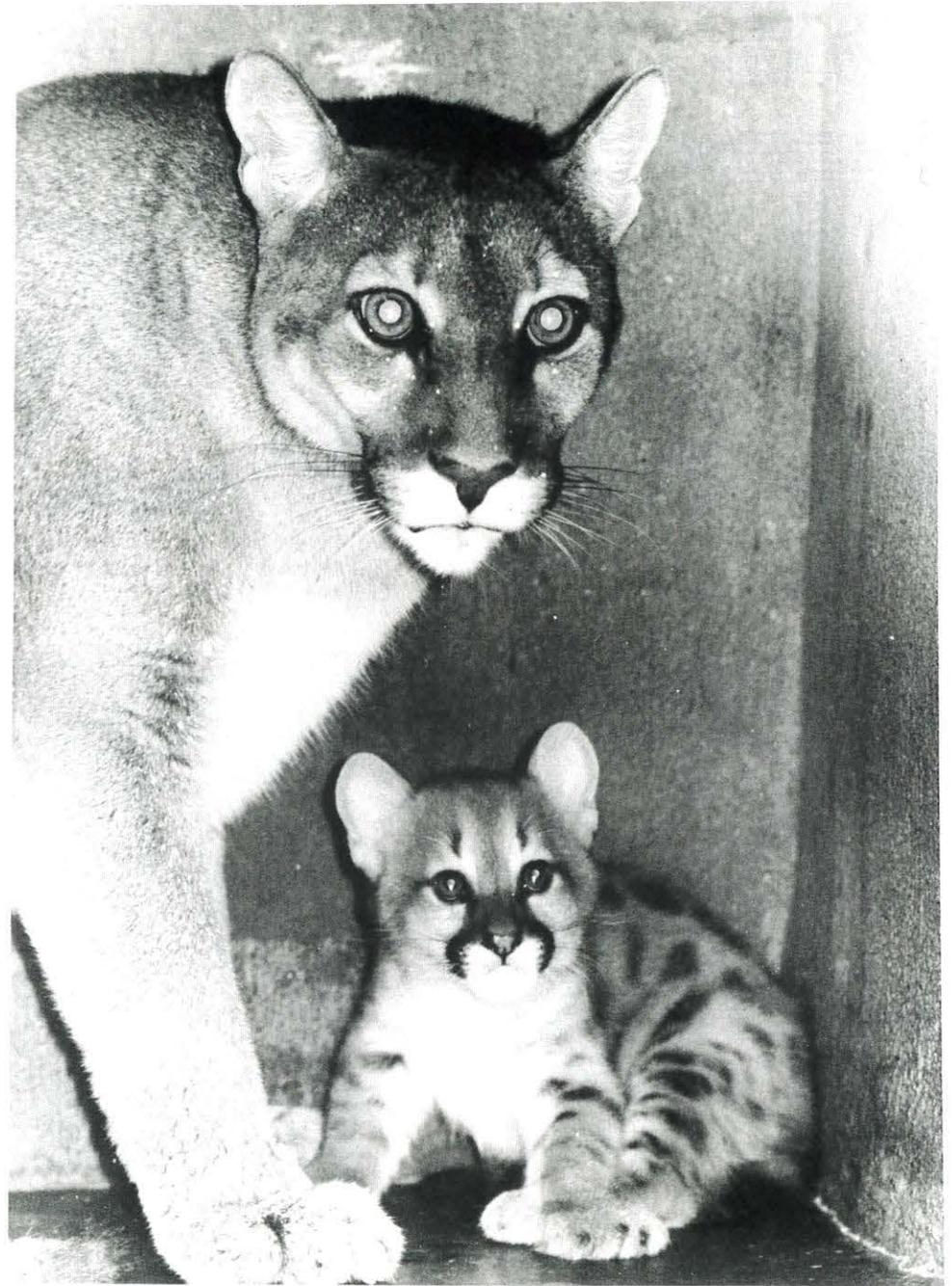
なぎごえ9月号もくじ

動物と私 ..... 2
“ピューマの赤ちゃん誕生” ..... 3
動物園グラフ「サマースクール特集」 ..... 4・5
動物園日記
第7回サマースクール生徒感想文 ..... 6・7
動物舎に雑居する小さな住民たち ..... 8・9
北米通信員だより ⑦ ..... 10
動物園ニュース ..... 11

表紙の写真説明

“ニホンジカ”
この雄ジカの袋角も、もうまもなく軟らかい皮膚が剥げ落ち、りっぱな骨化した角になります。秋はシカにとって繁殖期、少し山に入れば秋の夜空に響く“キューン”という雄ジカ

(撮影: 榊原安昭)



“ピューマの赤ちゃん誕生!”

6月25日に生まれたピューマの赤ちゃんは、育児経験豊富な母親のおかげで順調に育っています。

(撮影: 農本 武志)

# 動物園グラフ

## 「サマースクール特集」

今年も7月23日から8月2日まで9日間、小学生4、5、6年約270名が3組に分かれて各々3日間づつ暑さに負けず、動物の勉強をしました。

(撮影：森本 委利・中川 哲男)



走鳥の仲間にはダチョウ、レア、ヒクイドリなどがいます。これは3月末と4月はじめにふ化したエミューのヒナです……と、やさしく説明してくれる青野係員。



5月20日生れのニホンシカの「リカ」動物病院での人工哺育の見学です。下痢をしたりで大変です……と、榊原獣医の説明です。



今日の昼からの研究発表に備え、勉強したことを絵に画いたり、説明文を書いたり……、インゲサインアー。



僕はニホンザルの勉強をしました。



生後25日目のトラの赤ちゃん、丸本係員にミルクの飲ませ方、ふんのさせ方を教わりました。



ライオンの寝室は危険だから扉や鍵には黄色のペンキがぬってあるのだよ！



これは石こうでとったキリンの足型です。



研究発表を熱心に見入る参観のお母さん達。

### 7・8月の動物園日記

- 7/21. ミドリカケスが1羽、自然ふ化しました。マアラの雄の歩行に異常がみられるようになったので、治療し病院に入院させました。
- 7/22. ミドリカケスが2羽、昨日と同様、自然ふ化しました。
- 7/23. 水禽放養舎のタンチョウ7羽の羽を、切りました。これは、飛んで金網などに衝突し、体を傷つけることがないようにという配慮のもとに行なわれています。ホッキョクグマに大きな氷柱をプレゼント

- しました。彼らにとっては来園以来はじめての行事でした。
- 7/26. サマースクールが本日より始まりました。6月に生まれたキョンの子が肺炎で死亡しました。
- 7/27. コビトコブウシの♀が発情し、♂との交尾がみられました。
- 7/28. イエローラットスネークが産卵しました。
- 7/30. 近畿の動物園獣医師勉強会が当園で開かれました。
- 7/31. リスザルの子が1頭生まれました。
- 8/2. サマースクールが本日で終了しました。

- オセロットが発情、交尾しました。
- 8/4. ブラックバックのおばあさんが老衰で死亡。トラの仔が斜頸のため治療をしています。
- 8/5. コウノトリにサワガニを2匹与えました。
- 8/6. レアが1個産卵しました。
- 8/7. スズメのヒナと衰弱したゴイサギを保護しました。
- 8/9. カニクイザルの♂が陰のうに裂傷をうけ、右睾丸が脱出してしまったので、手術をしました。
- 8/11. 保護されて元気になった鳥たち、今回はトビ4羽、カラス2羽を能勢まで運び放ちま

- した。
- ワライカワセミ2羽が、オーストラリア、メルボルン動物園より送られて来ました。当園では、54年来園の2羽と合わせて、計4羽となりました。
- 8/12. 大阪府農林部自然保護課よりコクチョウの保護預りの依頼があり、承諾しました。夕方には入園可となりました。
- 8/15. プレイリードッグが2頭入園しました。

## 第7回サマースクール生徒感想文

暑かったサマースクールも無事終了、受講した多くの生徒さん達から届いた感想文のうち数編紹介しましょう。

### 5年 林 真美子

私はサマースクールに入って楽しかったことがたくさんありました。その中でも特に楽しかったのはキリンやトラの赤ちゃんをさわられたことです。キリンをさわるとき、キリンがよだれをたらしていたので気持ちが悪いでした。それに非常に背が高いので、私の身長ではキリンの頭をなでることができませんでした。ですから、体の一部をなでてやりました。毛はざらざらしていました。手をずっとおいていたら温かい体温が伝わってきました。また、トラの赤ちゃんは私が想像したより迫力がありません。トラでも小さい時はウサギみたいにおとなしいと思っていましたが、さすがトラの子供だけあって、大きな声で「ギャオーッ」とほえました。かわいそうだなと思ったことが1つあります。それはトラの赤ちゃんの首が生れつき少しゆがんでいることです。それでまっすぐ歩くこともできません。大人のトラになるまでにすっかり治ったらいいと思います。来年もサマースクールに入りたいと思っています。

### 5年 森島 有美

私は今までムササビはどんなかっこうをしているのか知りませんでした。でもサマースクールで、ムササビを実際に見ました。本当は見せてもらえないのですが、サマースクールのため特別に見せていただきました。ムササビはとっても可愛らしいものでできあげると背中によじ登ってきます。目も夜行性のためか大きく、その大きな目で私達を見つめています。このムササビはまだ子供なのでこれからもっと大きくなるそうです。私はムササビを見たとき「かわいいー」と声を出してしまいました。このムササビのことは絶対に忘れないと思います。ムササビが見られたのもボランティアの先生がたのんでくれたからです。そしてムササビのいろいろな性質を教えてくださいありがとうございました。

### 5年 藤原葉子 三井嘉子

この3日間いろんな事をおそりました。キリンのつのは5本と聞いてみんなは「えっ!」とおどろきました。そしてラクダのからだは、砂ばくで住むのに、適したしくみになっているので感心しました。後、もう1つおどろいた事があります。それはカンガルーの赤ちゃんのからだの大きさです。小さいとは聞いていましたが、小指の長から私たち位の大

きに成長するとはすごいなあ。

一般の人が入れないしんじつや動物病院なども見せてもらい、とても勉強になった。そこにもいろんな工夫がありました。

自然史博物館では、いろんな動物の骨を見せてもらっている事がありました。特に肉食動物はとんがった歯、草食動物はひらべった歯、というふうにはきちぎったり、すりつぶすなどそれぞれ便利にできています。だから私たちざっ食動物は親切歯やおく歯があるんだなあ、と思いました。実さいに頭の骨や歯をさわらせてもらい、びっくりしたりいままですらない事を発見したりしました。みんなの感想では「赤ちゃんしかがかわいい。」とか「わかりやすい説明と自分で見るという事で楽しい。」という意見が多かったようです。また来年もサマースクールに行きたいです。

### 5年 青戸澄代 土橋裕子

私は最初サマースクールというのは他のお客さんが見ている所から説明を聞いて終りだと思っていました。でもその予想とは全く違っていました。例えば動物達の寝室です。そこに入って動物達の行動や身体……いろいろ見ました。そして心に残った動物

それは「マレーバク」です。バクは体がパンダみたいに白黒で足のひづめは前が3つ、鼻は下あごより長く前につきでてゾウの鼻のようです。便は水中でしか絶対にしません。このほか中国の伝説では夢を食べるといいます。1日目が終わるその日の夜は胸がわくわくして寝ました。朝、お母さんは早起きしてお弁

当を作ってくれました。時間になったので家を出ました。動物園へついたらたんうきうきしてきました。その時、先生が「今日はヘビをさわらせてもらうよ」と言った時、うれしくてたまりませんでした。それは前から一度さわりたいからです。サイのスケッチをしている時にヘビの飼育係さんが呼んでくれたので行きました。その時、丁度餌をやる時だったので餌をもらってやりました。それからヘビをさわらせてもらいました。私はこわくて、びくびくしながらさわりました。みんな平気でさわっていました。手ざわりはビーズが一面に集って、またちらばっているような手ざわりです。体長は30~40cmぐらいです。前はみんなヘビはこわいものと言っていたのにさわってからは、可愛いというようになりました。たのしい3日間でした。

### 6年 安田 美樹

今年のサマースクール、わたしは10班ではちゅう類のことをみんなと勉強しました。1日目、わたしはサマースクールに行けなかったけど、2日目、3日目、先生に動物の説明をしてもらったり、ほんと

うの動物を見るだけではなくさわってもらったりしました。見学して、あまり感想をもたないでおりすぎている前でも、先生、ともだちといっしょにいてスケッチをしていたら、おりの中の動物たちの動きがものすごくおもしろく、かわったものに見えました。同じカメラでも、足のつめが、5本あったり、4本あったりするちがいが、また、りくにするもの、水の中にすむものを見、そのちがいをくらべました。博物館では、たつてあるくもの、はつてあるくもの骨のつきかたのちがいが、ほんとうにたくさん見ることができてよかったです。2日間しか行けなかったけど、3日間いたような気がして、3日間勉強したお友だちにまけないくらい、たのしかったです。この2日間をきっかけに、また、自然に目をむけていこうと思います。

### 6年 田伏 美奈子

なんといっても面白かった。今まで知らなかったことがいろいろ解ったし、キーパーさん達のお話も聞けたし、第一、普段入れない所まで入らせてもえたり、来年も行きたいぐらいだ。でも来年は中学生なのでだめだ。せつかく仲の良い友達もできてボランティアの先生にもまじめたというところで終ってしまった。楽しかったけど3日間という期間は短かったように思う。第1日目、猛さんの餌などを見たり観察したりした。2日目からは昼から研究発表でマイクでしゃべる時、少しあがった、3日目は長居の博物館を見学した。修了証をもらうともう会えないんだなあと実感してきた。住所を教えてもらって「手紙を出すから」と約束して別れた。家へ帰ってスケッチブックを見たらたった5枚しか使っていなかった。やはり3日間は短かった。たしかに短かいけど短い時間の中で一生けん命したのでいろいろ憶えている。やっぱり大人になっても忘れないでいたい。小学生最後の夏休み、とても楽しい思い出となるだろう。

### 6年 石岡 規子

サマースクールの3日間とても楽しくできてうれしかったです。友達がたくさんできて、大好きな動物達のことを勉強して、小学校最後の夏休みの思い出になりました。また来年も行こうと思いましたが、来年は中学生なので参加できないのを知ってがっかりしました。でも高校生になったらZOOボランティアズに入って動物園祭りや、サマースクールの世話をすることができるので絶対に入ろうと思いました。あと6年で入れます。その時を楽しみに待っています。

3日間が一番うれしかったのは、トラの子供やヘビをさわったことでした。それよりも感動したこと

は、飼育係のおじさんが物を言わない動物達にやさしく声をかけながら世話をしているところを見た時です。こんなにやさしいおじさんばかりだったら動物達は幸せだろうなあ、と思いました。そして心の中で私も飼育係になって、動物の世話をしたり小屋のそうじをして、できる限りの事を動物達にしてあげたいと思いました。

この3日間、たくさん事を学びました。

### 大阪動物園ボランティアズ 河内 弥生

夏本番、都会とは思えぬほどの蟬時雨とうだるような暑さの中、恒例の天王寺動物園サマースクールが開催された。あまり深く考えもせず、興味半分飛びこんだボランティアの世界、始めて経験するサマースクール、たくさんの子供達、そしてたくさん動物達。日頃と縁のなかった世界にたどろたえるばかり。子供達の知識の深さに「よく知ってるね」と本気で感心し（これではあべこべです）、自分の知識のなさ、勉強不足にただ下を向くばかり。そして子供達の疲れを知らぬ無尽蔵のごとくのエネルギーにむかし少年少女の私も圧倒されるばかり。子供達の後ろにそっと立ち、立場も忘れて、あらゆる人の説明を一生懸命感心しながら聞くだけの3日間

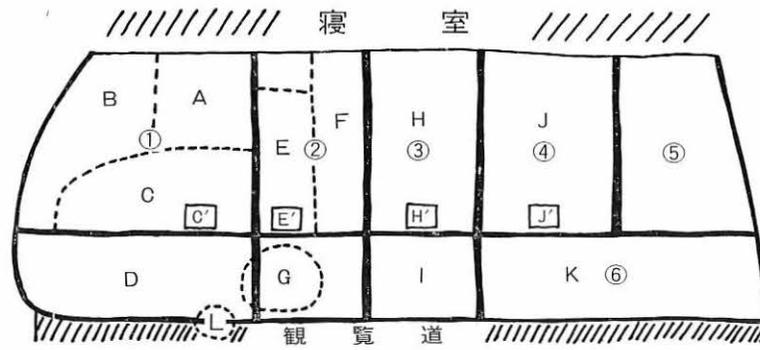
だったように思う。それでも私にとって新鮮な喜びと快い疲労の3日間だった。またサマースクールを経験することによって私の中での動物園という存在が、今までのただ見て通りすぎるだけのものから、立ち止まってじっと見つめ、動物達に「また来たよ」と話しかけたいくなるような身近な場所になりつつあるように思い、また子供達もそう感じていてくれたらなああと期待している。このサマースクールを通じて、子供達が動物を愛するきっかけとなり、またいっそう愛する心が大きくなり、その心がずっと持ちつがれた事なら、世の中ももっと平和になるのではないかしらと楽しい想像をめぐらせたりする。そのためには、よりよいサマースクールとなるよう努力せねばならないのだ!!結論はここに来ようです。

また来年も来たいと言っていた子供達が、ひとり成長した姿を見せてくれる日が楽しみでもあり、また少々恐怖でもある。最後に御多忙の中、いろいろ御指導して下さいました獣医さん、キーパーさんの方々に深くお礼申し上げます。

(文責 飼育課:中川 哲男)  
OZV 編集委員



# 動物舎に雑居する小さな住民たち



## 1. はじめに

動物舎の空間利用として、小さな動物達を放し飼いにするのは大変楽しい事です。そして、彼等の行動を追ってゆくと、普段、檻の中で飼われている時には考えられない行動が発見できたり、又、非常に興味深い行動が発見できたりして楽しませてくれます。我が天王寺動物園では、ラクダ、ラマ、カンガルー、キョン舎に家禽を放し飼いにして入園者の方々を楽しませていますが、彼等の放し飼いに於ける生活を観察するのも興味有る事と思われ、この紙面を使って普段入園者の興味を余り引かない、放し飼いにされた彼等、小さな動物達の生活を紹介します。

## 2. 放し飼いにされている動物達

先づ、ここに放飼されている動物は特別に購入されたものではなく、某者は、一般市民より寄附を受けたものの収容場所がなかった者、又、某者は園の余剰動物としてヤックイ扱ひされた者……etc. 各々この様な背景のある者ばかりです。言わば、彼等の救済処置



ともいえます。放し飼いにされている動物は、ラクダの前を歩くシチメンチョウとガチョウ簡易に飼育管理が出来、危険度の少ない家禽類の、シチメンチョウ、チャボアヒル、ガチョウ、白色レグホンに限られています。飼育動物の内訳は次の通りです。

①シチメンチョウ	(♂2♀1)	計3
②チャボ	(♂2♀1)	々3
③ガチョウ	(♂2)	々2
④アヒル	(♂1)	々1
⑤白色レグホン	(♀1)	々1

## 3. 餌について

給餌については、鶏類等に与える配合飼料をベースに、菜類、パン屑等を混ぜ合わせた餌を与えますが、ラクダ舎には若干草の生い茂った場所があり、そこに生息している小さな昆虫を採食しています。特にシチメンチョウは、バッタ、コオロギ、イナゴの出没する時期には、これらの昆虫を採食しているのがよく見られます。

## 4. 力関係・序列について

力関係に於いては、その強弱は歴然としており、種類別では、ガチョウが最も強く他を圧倒しています。次いでシチメンチョウ、チャボ、アヒルの順になっており、その序列は完全に確立されています。しかしながら、同種類の中にも個体の強弱があり、弱い個体は強い個体の下であわれな運命を背負い込み、うだつが上がらぬ生活をしいられます。

例えば良い例がチャボです。チャボの♂No.1とNo.2は、No.1の方が放飼された時期が早く、No.2を放飼した時には激しい闘争が見られました。結局No.1が先住者の強味で勝利を勝ち取ったのですが、以来、No.1は何かにつけてNo.2に対し攻撃的になり、餌の時間にも追い回して餌を食べさせないという、徹底した力関係の強弱を見せつけました。この為No.2は一時、やせおとろえ、全く元気がない時期が続きました。



チャボ

何とか、No.2に餌を食べさせる為工夫し、餌を分散して与えるのですが、ダメです。No.2の採食しているのを見ると、No.1が飛んで来て追いかけ回すのです。最近ではかなり軟化していますが、♂の強弱関係が極端に出た良い例だと申せましょう。シチメンチョウ等も

♂同志の闘争は起こりますが、時期的に限られており、あくまでも♀の取り合いがその原因となっているようで、いつもは仲良く歩き回っています。

## 5. 行動範囲について

行動範囲については、別表にある通り、各テリトリーをブロック別に大別し、A～L迄の記号によって示されている通りで、その行動範囲を紹介します。

### 〈各々の行動範囲〉

- ①シチメンチョウ (ABCDGL)
- ②ガチョウ (CC'D)
- ③アヒル (CC'DG)
- ④白色レグホン (DEFH)
- ⑤チャボ♂No.1 (EFHI)
- ⑥チャボ♂No.2 (HIJK)
- ⑦チャボ♀ (FHI)

上記の行動範囲を見ればわかる様に、アヒルとガチョウは、動物舎の水飲み場を中心に行動している事がわかります。これは彼等が水禽であるが為に、絶えず水の有る所を必要としている事の表われと申せましょう。とりわけアヒルの場合、1日の大半は水飲み場に体を入れており、ときたま、ガチョウ達が水飲み場に来るとオズオズと水場から上がり、場所を提供し、ガチョウ達が去って行くと、又、水場



に入るといった具合で前述した力関係の強弱がこんな所にも表われています。さて、行動範囲が一番広いのがチャボです。この理由として先づあげられますのは、彼等は風切羽根を切断しておらず、自由に飛び回られるからでしょう。行動範囲は季節によって若干異なる事があります。例えば冬と夏の場合は極端に違いが見られます。同じ区域で行動するにしても、冬場は当然の事ながら日当たりの良い場所を中心に行動しますが、夏場は逆に、暑さをしのぐ為日陰を中心に行動します。シチメンチョウなどはその良い例です。例えば休息場所ですが、冬場の休息場所は日当たりの良い、ラクダ舎の人止柵(図ではLのところ)を好んで使いますが、季節的に暑くなってくるとこの場所を避ける様になり、真夏では放飼場に出来た日陰を求めて移動します。シチメンチョウの♀などは、ラクダ舎にある草むらの中に潜り込んで暑さをしのぎます。行動範囲の中で各々が工夫をこらしています。面白いのは風の強い日です。シチメンチョウ等の体の大きな者はさほど影響を受けませんが、体の小さいチャボはまともに影響を受けます。シチメンチョウ等は1カ所にじっとしており、風の止むのを待っていますが、チャボ

は、カンガルーの寝室に入り込んで風の止むのを待つのですが、この時ばかりは力の強弱などはお互いに関係なく、No.1の♂とNo.2の♂が同じ所で身に寄せています。苛酷な自然現象と闘って行くうえにおいては、最も良い方法であると彼等が本能的に悟った上での行動でしょう。風が止まればまたぞろNo.1はNo.2を追いかけ回すのですが……。

## 6. 攻撃性について

飼育係がラクダ舎の清掃をする為、彼等のテリトリーに侵入せざるをえません。これは毎日の仕事ですから、毎日何回かは彼等のテリトリーに侵入する事になります。彼等は当然の事ながら自分のテリトリーを主張します。その主張を彼等は我々に対して攻撃することにより表わします。一番極端なのは、シチメンチョウです。飼育係が彼等のテリトリーに侵入した場合直ちにこちらに向かって攻撃をしかけて来ます。先づ足で蹴り、次いでクチバシでつきに来るのです。この時トサカが普段の色よりも真っ赤になるのが特徴で、七面鳥は興奮したりすると直ぐ顔色が変わるのでこう言う呼び方があるのでしょうか。飼育係がテリトリーから出て行くと、彼等は平常に戻り、膨張していたトサカも小さく縮んで普段と変わらない御面相になるのです。後はケロッとして何事もなかった様な態度になります。チャボの♂No.1も餌の時間になると、何処からともなく飛来してくるハトの群れにテリトリーを侵害される為、舞い降りるハトを片っぱしから追い散らすのですが、相手は何せ数10羽の大群で来るのですから体が幾つあっても足りません。そこで追い散らした所で、“食うが先”とばかり、やώρα餌を食べ出すのですが…。こんなコッケイな光景も、彼等にとっては重大な問題なのです。テリトリーを侵害される事の重大さは明日の死活問題にも発展しかねないのです。

## 7. 産卵について

現在産卵可能な個体は、シチメンチョウ、白色レグホン、チャボの3羽ですが、産卵するに於いての産卵場



所はだいたい決まっているようです。抱卵はするのですが破卵する事が多く、特に大型動物のラクダやラマが歩き回っている場所での抱卵は期待出来ず、自然孵化によるヒナの誕生は未だこれからの課題といえます。

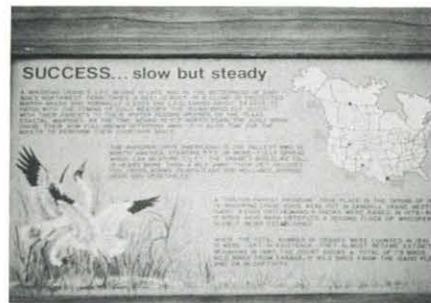
(飼育課：葭谷 文彦)

## 北米通信員だより ⑦

§サン・アントニオ動物園

アラモの砦で名高いサン・アントニオは米国の一大文化都市です。石切場の跡地をうまく利用してつくられた広大な動物園は協会の運営になるもので、コレクションの質・量ともに間違いなく米国のトップクラスに位置づけられるものです。天王寺動物園にも来られたことのあるデ・サバビト園長からいただいた返答の手紙の通り、当日は少壮の動物学者スミス氏が長時間つき合って下さいました。ここの特色は繁殖群単位で動物を飼っていることで、ユキヒョウ12頭、ウンビョウ9頭、トビ16頭、ダマガゼル20頭などと10頭以上が複数群で飼われているものが少なくなく遺伝的配慮がなされているとのことでした。ことに31種のカモシカは各1群を展示に供し、

他はすべて非公開の繁殖用地区で飼われていました。多くはかつて郊外の



アメリカシロツルの保護の現状

大牧場主達が余技で集めたものの末裔達だそうです。鳥類も驚くべき種数でした。ここはフラミンゴの繁殖に世界で初めて成功したところですが現在はツル類の繁殖で実績をあげているようです。毎分60トンという園内の湧水は水族館の魚類、水禽ブロックの鳥達に特にふんだんに使われていました。



「鳥とは何でしょう？」

あります。教育部門は置かれていないのですが、動物学の見事に息づいた動物園でボランティアの案内により入園者は多くの驚くべき事実を発見するにちがいありません。また、近々子供動物園を大拡張する計画があるとのことと模型を見せていただくことが

できました。

§グラディス・ポーター動物園

そこからバスで南へ6時間、10年前に開園した有名なグラディス・ポーター動物園はメキシコとの国境の町、ブラウンズビルにありました。園長のファルスト氏にお目にかかった後、半年前に創設された教育課の課長で地域に密着した教育事業を推進するためとのことで地元の中学校の先生から抜粋されたボランティア出身のフォーレイ氏にお会いしました。

同氏は目下、動物園ならではの教材の作成に専念しておられました。



フォーレイ氏

スライドショーを見せていただきましたが、これは同園で実施中のアラビアオリックスの現地復帰事業を描く中で動物園の重要な使命を訴えるもので宣伝よりもむしろ教育的色彩の濃いものでした。動物園にとっていきつくところ教育とは何かを考えさせられました。

雨の降る中、フォーレイ氏は電気自動車で園内をくまなく案内して下さいました。同園は、スラムの



新しくできた子供動物園

復興計画の一環として川の多くの中州に橋と擬岩とを巧みに使って建設されたユニークな動物園で給餌には周囲を取り巻く通路からの他、水路からボートを使ってもなされています。国境の町らしくスペイン語でも掲示がされているのが印象的でした。動物園でも見られないような稀少種を多くもち、繁殖に努める姿勢は立派でした。アフリカゾウの子供が生まれていた他、子供動物園では同園で生まれたばかりのテナガザル3頭とチンパンジー1頭が見られました。

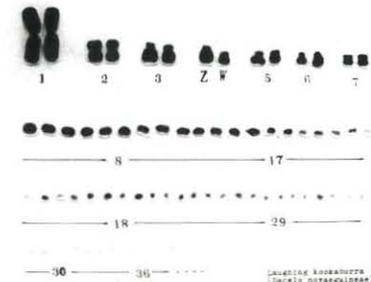
(大阪動物園ボランティアーズ：

富樫史朗)

## 動物園ニュース

§ワライカワセミ来園!!

8月11日、ワライカワセミが2羽来園しました。一昨年6月29日にメルボルン動物園との動物交換で来園したワライカワセミは、一昨年、昨年、本年と産卵しましたが、いずれも無精卵であり、産卵数も多いことから、雌雄鑑定のため染色体検査をしたところ、2羽とも雌であることが判明しました。



ワライカワセミの染色体 (ZW型で雌であることがわかった)

そこで、メルボルン動物園と連絡を取り、さらに2羽のワライカワセミを購入することになり、今回の来園となりました。検疫も終了し8月11日から4羽同居させ展示しています。鳴き声も4羽となり、一段と大きくなったようです。うまく繁殖ペアができ、雛が誕生することが待たれます。

§リスザル2頭、誕生。

7月21日にリスザルが1頭生まれました。母親は

§コクチョウの保護預り。

8月12日、コクチョウ1羽が、大阪府自然保護課の依頼で当園に保護預りされました。

このコクチョウは、港区で衰弱し海中に沈みかけているところを大阪港湾作業の方に保護されたとのことでした。

コクチョウはオーストラリアに分布する鳥ですの



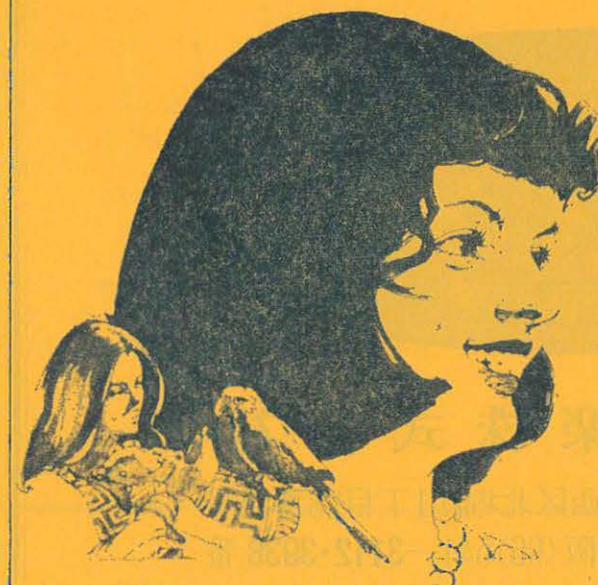
で、野生のものが渡来したとは考えられず、ペットとして飼われていたものが逃げたものでしょうか。

現在動物病院に収容していますが、嘴の根元に糸のようなものがからんでできた傷があるものの非常に元気です。

§「サマースクール研究発表作品展」開催される。



# くらしを彩るショッピング



**近鉄百貨店**

アベノ店 (06) 624-1111・上本町店 (06) 779-1231  
東京近鉄 (0422) 21-3331

・近鉄百貨店グループ

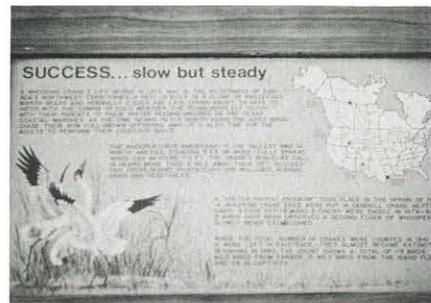
大阪(アベノ・上本町)・東大阪(奈良)・京都(嵯峨)  
枚方・四日市・和歌山・徳山・別府・東京(吉祥寺)

## 北米通信員だより ⑦

§サン・アントニオ動物園

アラモの砦で名高いサン・アントニオは米国の一大文化都市です。石切場の跡地をうまく利用してつくられた広大な動物園は協会の運営になるもので、コレクションの質・量ともに間違いなく米国のトップクラスに位置づけられるものです。天王寺動物園にも来られたことのあるデ・サバビト園長からいただいた返答の手紙の通り、当日は少壮の動物学者スミス氏が長時間つき合って下さいました。ここの特色は繁殖群単位で動物を飼っていることで、ユキヒョウ12頭、ウンピョウ9頭、トビ16頭、ダマガゼル20頭などと10頭以上が複数群で飼われているものが少なくなく遺伝的配慮がなされているとのことでした。ことに31種のカモシカは各1群を展示に供し、

他はすべて非公開の繁殖用地区で飼われていました。多くはかつて郊外の



アメリカシロツルの保護の現状

大牧場主達が余技で集めたものの末裔達だそうです。

できました。

§グラディス・ポーター動物園

そこからバスで南へ6時間、10年前に開園した有名なグラディス・ポーター動物園はメキシコとの国境の町、ブラウズビルにありました。園長のファルスト氏にお目にかかった後、半年前に創設された教育課の課長で地域に密着した教育事業を推進するためとのことで地元の中学校の先生から抜粋されたボランティア出身のフォーレイ氏にお会いしました。

同氏は目下、動物園ならではの教材の作成に専念しておられました。



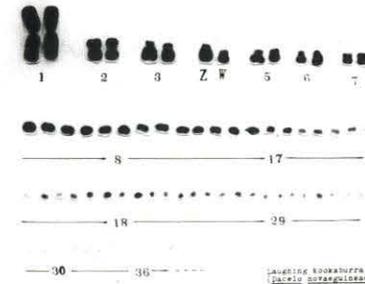
フォーレイ氏

近年のスライドショーを見せていただきましたが、これは同園で実施中のアラビアオリックスの現地復帰事業を描く中で動物園の重要な使命を訴えるもので宣伝よりもむしろ教育的色彩の濃いものでした。動物園にとっていきつくところ教育とは何かを考えさせられました。

## 動物園ニュース

§ワライカワセミ来園!!

8月11日、ワライカワセミが2羽来園しました。一昨年6月29日にメルボルン動物園との動物交換で来園したワライカワセミは、一昨年、昨年、本年と産卵しましたが、いずれも無精卵であり、産卵数も多いことから、雌雄鑑定のため染色体検査をしたところ、2羽とも雌であることが判明しました。



ワライカワセミの染色体 (ZW型で雌であることがわかった)

そこで、メルボルン動物園と連絡を取り、さらに2羽のワライカワセミを購入することになり、今回の来園となりました。検疫も終了し8月11日から4羽同居させ展示しています。鳴き声も4羽となり、一段と大きくなったようです。うまく繁殖ペアができ、雛が誕生することが待たれます。

§リスザル2頭、誕生。

7月31日にリスザルが1頭生まれました。母親はコモンリスザル、父親はボリビアリスザルの種間雑種ですが、母親は2回目の出産です。

また、8月21日にはボリビアリスザルが生まれました。出産前、腹囲が非常に大きく双子ではないかと心配しましたが、生まれた子供は1頭でした。母親は過去4回の産歴があるベテランですので、今回も無事育つことでしょう。

§ニホンジカ、人工哺育で育つ。

5月20日に生まれたニホンジカの雌は、母親が死亡したため人工哺育していることはお知らせしましたが、順調に成育し体重も出生時の4倍近くになり、生後75日目の8月3日からは完全に離乳しました。そこで群へもどすため、8月17日にニホンジカ舎の一角をフェンスで区切り、5月31日に生まれたもう1頭の子といっしょにし、群との見合をさせることにしました。最初はしばらく落ち着きがありませんでしたが、すぐに慣れ2頭のおりあいもよいようです。

§津市役所へ動物を寄贈

三重県津市に新しく子供動物園が作られることになり、開園をお祝いして当園からメンヨウ2頭、ヤギ2頭、モルモット8頭、ヤクシャウズラ3羽、シロウズラ4羽、クジャクバト5羽を寄贈しました。8月11日に津市役所の方々がライトバン2台で受け取りに来られました。

§コクチョウの保護預り。

8月12日、コクチョウ1羽が、大阪府自然保護課の依頼で当園に保護預りされました。

このコクチョウは、港区で衰弱し海中に沈みかけているところを大阪港湾作業の方に保護されたとのことでした。

コクチョウはオーストラリアに分布する鳥ですの



で、野生のものが渡来したとは考えられず、ペットとして飼われていたものが逃げたものでしょうか。現在動物病院に収容していますが、嘴の根元に糸のようなものがからんできた傷があるものの非常に元気です。

§“サマースクール研究発表作品展”開催される。



8月23日から9月13日まで、今夏行なわれたサマースクールで子供たちが研究発表のために書いた作品を北園展示館と地下道に展示しました。

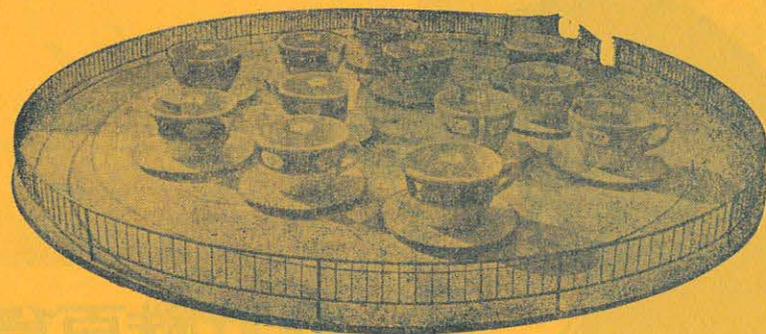
### 休園日のお知らせ

動物園の休園日は毎月第3月曜日です。12月までの休園日は下記の通りです。

9月21日(月)、10月19日(月)、11月16日(月)、12月21日(月)。

年末年始は、12月29日～1月1日まで休園いたします。開園時間は、9時半から5時までで、4時に切符売止めになります。

## 遊園施設委託経営・製作・販売



## 久竹娯楽株式会社

本社工場 大阪市西区北堀江1丁目23番21号  
電話 大阪(06)541-3112-3938 番

なきごえ 昭和56年9月15日発行(毎月1回15日発行)

編集/大阪市天王寺動物園

発行人/大阪市天王寺動物園協会 和田辰巳

印刷所/株式会社 松村善進堂 定価100円(送料共)

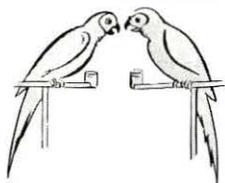
第17巻 第9号(通巻192号)

〒543 大阪市天王寺区茶臼山町6-74

電話 大阪 (06)771-0201

振替口座 大阪 37823

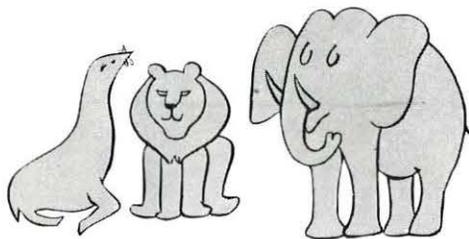
1年継続(12部)1,100円(送料共)



## 鳥獣輸入

全国動物園水族館御用達

- ・医学実験用動物
- ・愛玩犬、猫直輸入
- ・宣伝用、テレビ用、貸動物
- ・教材用鳥獣剥製販売
- ・原色世界雑類図鑑(34種1枚もの)要郵便券150円・鳥獣価格表100円



## 有限会社 吉川商会

本社 神戸市生田区中山手通三丁目二八番地 電話(078)221-8195・221-1517  
 飼育場 神戸市葺合区神仙寺通三丁目一番地 電話(078)241-3494



自然の  
おいしさ

全糖

- 合成甘味料・合成保存料・合成糊料・合成着色料はいっさい含まれていません。



# 雪印ヨーグル

各130cc.=90円

パイナップル・オレンジ・ストロベリー・フルーツカクテル

編集委員

橋本 一郎・土井 良彦・樽本 勲・中川 哲男・宮下 英・長瀬健二郎・榊原 安昭・森本 泰利・大野 尊信  
 阪谷 文彦・農本 武志・野口 秀高・仲谷 登・高橋 真三・板野 健一・石島 宏胤・柴田 総